

■現状と課題

林業公社は、県内16市町において分収契約方式により1911団地、約2万2千haの森林を造成してきました。これまでの森林造成を通じ、県内中山間地域において累計約543万人日の雇用創出や森林の公益的機能を持続的に発揮させるなど地域に貢献してきました。

しかしながら、これまでは保育中心の事業であったため、借入金に依存する経営が続いており、低迷が続く現在の木材価格では最終的に収支不足が発生する見込みです。

一方で公社経営林の森林資源は伐採時期を迎えつつあることから、平成26年度から第4次経営計画に基づいて本格的な収穫事業(木材生産事業)を開始しました。

なお、収穫事業により得られた収益については、借入金の返済や保育事業経費への補填などに活用していきます。

■事業計画及び実績（平成26年度～30年度）

(1) 収穫事業

項目		実施年度					合計
		H26	H27	H28	H29	H30	
実施面積 (ha)	計画	79	158	237	317	396	1,187
	実績	19	102	—	—	—	121
	達成率	24%	65%	—	—	—	10%
搬出材積 (m ³)	計画	9,480	18,960	28,440	38,040	47,520	142,440
	実績	2,769	11,526	—	—	—	14,295
	達成率	29%	61%	—	—	—	10%
収支 (千円)	事業経費(A)	18,636	67,863	—	—	—	—
	事業収入(B) (木材販売代金+補助金)	32,007	139,893	—	—	—	—
	収益(B-A)	13,371	72,030	—	—	—	—

・収穫事業の面積は、実施区域であり、この面積を3回に分けて伐採する。

(2) 搬出間伐事業

項目		実施年度					合計
		H26	H27	H28	H29	H30	
実施面積 (ha)	計画	259	283	277	274	276	1,369
	実績	288	840	—	—	—	1,128
	達成率	111%	297%	—	—	—	82%
搬出材積 (m ³)	計画	8,480	11,320	11,080	10,960	11,040	52,880
	実績	5,235	5,903	—	—	—	11,138
	達成率	62%	52%	—	—	—	21%
収支 (千円)	事業経費(A)	78,121	209,226	—	—	—	—
	事業収入(B) (木材販売代金+補助金)	81,463	220,334	—	—	—	—
	収益(B-A)	3,342	11,108	—	—	—	—